



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
コード番号 7638 URL <https://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神尾 常夫

TEL 03-3567-8098

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日

2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	21,099	1.7	2,864	13.3	2,915	13.5	1,085	37.1
2023年3月期	21,463	14.6	3,304	22.4	3,371	14.7	1,727	16.8

(注) 包括利益 2024年3月期 1,008百万円 (45.5%) 2023年3月期 1,849百万円 (42.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	70.67		12.1	13.1	13.6
2023年3月期	110.56		18.4	15.6	15.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	21,991	8,867	39.4	563.72
2023年3月期	22,394	9,398	41.2	611.54

(参考) 自己資本 2024年3月期 8,662百万円 2023年3月期 9,232百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,908	1,442	1,484	1,641
2023年3月期	1,970	1,054	1,700	2,628

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		100.00	100.00	1,536	90.4	16.4
2024年3月期		0.00		100.00	100.00	1,536	141.5	17.0
2025年3月期(予想)								

2025年3月期年間配当金に関しては決定次第発表させていただきます。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	10.6	1,800	23.7	1,800	16.3	900	24.3	58.57
通期	27,000	28.0	4,800	67.6	4,800	64.7	2,800	157.8	182.21

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	16,626,375 株	2023年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2024年3月期	1,259,328 株	2023年3月期	1,258,395 株
期中平均株式数	2024年3月期	15,367,339 株	2023年3月期	15,622,999 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料] P 5 . 「1 . 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、既存事業に加え新たな分野への事業を推進した年度となりました。成功企業パートナー連合の第1号として香港で和牛を中心に業界No.1の食肉等を販売するWah Full Group Limitedとの交渉を進め、2024年4月30日にWah Full Group Limitedの株式30.3%を取得致しました。また、友好企業パートナー連合の第1号として、我が国が抱える最も深刻な問題の一つである人材不足を解決する為に株式会社NEW ART HR&Dを設立いたしました。NEW ARTグループとして優秀な外国人材をスムーズに供給する為に、長年アジア諸国で人材紹介ビジネスに携わってきた箕田純子氏をトップに迎え、事業を開始致しました。NEW ARTグループは『成功企業パートナー連合』『友好企業パートナー連合』のメンバーと共に更なる経済・社会の発展に貢献してまいります。

当連結会計年度におけるグループの業績は、売上高210億99百万円（前期比1.7%減）、営業利益28億64百万円（前期比13.3%減）、経常利益29億15百万円（前期比13.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10億85百万円（前期比37.1%減）となりました。

グループ売上高は前連結会計年度と比較しほぼ同水準となり、利益面に関しては円安も影響し想定を下回る結果となりました。2024年2月13日に発表した業績修正において課題にあげた利益改善の施策として、ブライダルジュエリー事業においては経済情勢を踏まえた適切な価格転嫁の実行と仕入製造部門の見直しによる利益率の改善を実行しております。また、他事業に関しても経営体制の刷新を行い成長発展に向けた大きな経営改革を実行してまいります。

「みんなの夢の企業グループ NEW ARTはアートの持つすべての力であなたを美と健康と幸せに導きます」という企業理念のもと、2024年3月期の期末配当は2023年7月18日に発表させて頂きましたとおり、1株につき70円の普通配当に感謝特別配当30円を加算した1株につき100円と致します。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

（注）各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

① ジュエリー・アート・オークション事業

当連結会計年度におけるジュエリー・アート・オークション事業の売上高は193億40百万円（前期比2.4%増）、セグメント利益は39億7百万円（前期比1.8%減）となりました。

ジュエリー事業においては、売上高は確保できたものの利益面は円安による仕入原価高に対して、適切な時期に十分な価格転嫁ができなかったことで利益率が低下し、想定を下回る結果となりました。基幹事業として利益確保は最重要課題の為、迅速に価格転嫁を完了させ、今後は利益率の改善が見込まれております。同時に仕入製造部門の見直しによる仕入原価の改善にも着手しております。国内新規出店は、銀座ダイヤモンドシライシ/エクセルコダイヤモンドの統合店として仙台パルコ2店、沖縄パルコシティ店、松江店、アイネス福山店をオープンいたしました。また、海外事業において台湾は安定した利益をあげられる体制が整い、新たな新規出店で更なる利益の拡大を見込んでおります。香港事業に関しては2024年6月に新店をオープンしシェアの拡大を図ってまいります。

オークション事業においては、当社として初めてM&Aにて取得した会社ということもあり、業務がスムーズに移管できない部分もあり、結果的に営業体制の改革が遅れる形となりましたが、経営体制を変更し、今後は日本で初めての試みとして百貨店にて本格的な「売ります買います」オークションを計画しております。海外ではフィリピン、インドネシア、シンガポール、ベトナム、タイなどのローカルオークションハウスとコラボレーションして将来的な収益の拡大をはかります。

②ヘルス&ビューティー事業

当連結会計年度におけるヘルス&ビューティー事業の売上高13億72百万円（前期比37.9%減）、セグメント損失は5億20百万円（前期はセグメント損失2億31百万円）となりました。

ヘルス&ビューティー事業においては、ラ・パルレにて高価格帯コースの再開や接客手法の見直しを実施したことにより有効会員数の増加に繋がっております。また、技術及び接客の研修を定期的に行い、既存社員がスキルアップする事により今後の売上増を見込んでおります。エステ事業は夏場に売上が増加する傾向がある一方、冬場は閑散期となる為、無金利キャンペーンや企画商品の販売などで売上が減少しない施策を実行し、年間を通じて安定的な運営になるよう経営改善を図ってまいります。

③その他事業

当連結会計年度におけるその他事業の売上高は4億29百万円（前期比4.8%増）、セグメント損失99百万円（前期はセグメント損失67百万円）となりました。

スポーツ事業においては、「CRAZY」ブランドで展開しているゴルフクラブの販路拡大とブランド開発研究所によるゴルフ用品全般の企画、開発を推進致しました。ゴルフ用品の企画・開発を進める事でゼビオ・ヴィクトリア店への卸売上が向上し更なる売上拡大ができる事業であると考えております。今後はゴルフ以外のスポーツ産業への進出も検討しております。

クレジット事業に関してはラ・パルレの閑散期対策として無金利キャンペーンを実行し、ヘルス&ビューティー事業の売上促進を実施いたしました。今後はラ・パルレの売上が増加に転じる事でより安定的な売上、利益をあげれるものと考えております。

軽井沢リゾート開発事業に関してはかねてより当社ホームページでお知らせしている旧軽井沢エリアにおける高級分譲マンション（レジデンス）事業、『(Kの森レジデンス改め)K Forest』が、2024年4月に建築確認申請が承認されたことを受け、2024年5月27日（大安）に地鎮祭を執り行った後、いよいよレジデンスの着工、それと並行して販売募集も開始いたします。この『K Forest』に続く第2の案件として、軽井沢本通りを挟んだ反対側の閑静なエリアにある約2,500㎡もの敷地に大規模戸建物件（予定販売価格約2,000百万円）の建設、および中軽井沢北部にある隈研吾氏設計『野鳥の森山荘』の販売（予定販売価格約1,600百万円）を計画しております。更に第3の案件、中軽井沢エリアの土地（敷地面積9,466㎡）については3～5戸の戸建分譲を念頭に、着々と進行しています。

私たちNEW ARTグループは、主力のブライダルジュエリー事業はもちろん、各事業の更なる発展に向けて株主の皆さまと情報を共有しつつ着実に歩んでまいります。今後の展開に、引き続きご期待ください。

当社グループのセグメント別売上は、下記のとおりであります。

セグメント区分	販売・サービスの名称など	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) (千円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
ジュエリー・アート・オークション事業	ブライダルジュエリーの製造・販売、ブライダル関連サービス、美術品の販売等・アートオークションの運営等	19,339,341	2.4	91.7
ヘルス&ビューティー事業	エステティックサロンの運営、化粧品及び健康食品等の製造・販売	1,331,109	△38.8	6.3
その他事業	クレジット事業、ゴルフ用品の製造・販売、関連スポーツ用品の開発・製造、ホテル・結婚式場の運営・リゾート開発事業	429,428	4.8	2.0
合 計		21,099,879	△1.7	100.0

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比10億61百万円減少（前連結会計年度末比8.1%減）し、120億43百万円となりました。これは主に、商品及び製品が2億70百万円増加した一方で、現金及び預金が9億50百万円並びに受取手形、売掛金及び契約資産が1億24百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比6億58百万円増加（同7.1%増）し、99億48百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2億73百万円、長期貸付金が1億69百万円及び繰延税金資産が1億34百万円減少した一方で、土地などの有形固定資産が11億37百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比4億2百万円減少（同1.8%減）し、219億91百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比6億9百万円増加（前連結会計年度末比6.9%増）し、95億4百万円となりました。これは主に、短期借入金が2億43百万円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が9億24百万円並びに支払手形及び買掛金が1億84百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比4億81百万円減少（同11.7%減）し、36億20百万円となりました。これは主に、長期借入金が2億60百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比1億28百万円増加（同1.0%増）し、131億24百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比5億30百万円減少（前連結会計年度末比5.6%減）し、88億67百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益が10億85百万円あった一方で、剰余金の配当が15億36百万円あったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は39.4%（前連結会計年度末は41.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ、9億86百万円減少し、16億41百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、19億8百万円（前年同期比61百万円減）となりました。これは主に、法人税等の支払額が17億32百万円、棚卸資産の増減額が3億20百万円あった一方で、税金等調整前当期純利益が24億69百万円、減価償却費が4億29百万円、法人税等の還付額が3億16百万円、減損損失が2億68百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、14億42百万円（前年同期比3億88百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が15億52百万円あった一方で、長期貸付金の回収による収入が2億32百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、14億84百万円（前年同期比2億15百万円減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が24億47百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が18億19百万円、配当金の支払額が15億32百万円、割賦債務の返済による支出が2億44百万円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

ジュエリー国内事業については、シェアの拡大を図る為地方都市への出店と既存店のリニューアルを推進し新規顧客の開拓を図ります。また、ブライダル関連媒体のWEB化が進んでいる為、更なるWEB集客の強化を図ってまいります。円安の影響もありダイヤモンド及び地金は仕入価格がアップしている為、経済情勢を踏まえた適切な価格転嫁と製造部門の強化を行い利益創出をしております。海外事業については、台湾、香港においてより効果的な集客施策と販売スキルの底上げを行うことで、さらに売上の向上ができると考えております。

アート・オークション事業については、定期的なオークションの開催と日本で初めての試みとして百貨店にて本格的な「売ります買います」オークションを計画しております。また、海外においては有名オークションハウスとニューアート・エストウェストオークションズが業務提携しアジアオークション連合として積極的に事業を展開してまいります。

ヘルス&ビューティー事業については、ラ・パルレにて集客、接客、単価すべての分野で改善を実行しております。労働集約型産業として人材採用及び人材育成は最重要課題の為、有能な技術者の採用・育成をすすめると共に、商品単価の見直しと施術満足度の向上を実行してまいります。

クレジット事業においては、ヘルス&ビューティーのクレジットをすべて（100%）引き受ける体制構築を進めております。内製化が実現する事で確実に利益の出る体制を構築してまいります。

スポーツ事業においては、「CRAZY」ブランドで展開しているゴルフクラブの販路拡大とブランド開発研究所によるゴルフ用品全般の企画、開発を推進致します。ゴルフ用品の企画・開発を進める事でゼビオ・ヴィクトリア店への卸売上が向上し更なる売上拡大ができる事業であると考えております。

軽井沢リゾート開発事業においては、『K Forest』に続く第2の案件として、軽井沢本通りを挟んだ反対側の閑静なエリアにある約2,500㎡もの敷地に大規模戸建物件（予定販売価格約2,000百万円）の建設、および中軽井沢北部にある隈研吾氏設計『野鳥の森山荘』の販売（予定販売価格約1,600百万円）を計画しております。更に第3の案件、中軽井沢エリアの土地（敷地面積9,466㎡）については3～5戸の戸建分譲を念頭に、着々と進行しています。

香港食肉事業においては、2024年4月30日に成功企業パートナー連合の第1号として香港で和牛を中心に業界No.1の食肉等を販売する「Wah Full Group Limited」の株式30.3%を取得いたしました。今後2024年7月31日迄（予定）に70%までの取得を進めており株式の取得が完了する事でNEW ARTグループの収益の拡大に大きく寄与するものと考えております。なお、2025年3月期の連結業績予想には「Wah Full Group Limited」の売上、利益を組み込んでおります。

※ 本資料の上記の予想は、発表日現在において、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、以下のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	47.8	47.0	45.4	41.2	39.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	52.7	92.9	93.16	125.5	118.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	300.4	188.3	326.0	382.0	407.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	42.5	51.0	32.7	28.2	15.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,664,237	1,713,514
受取手形、売掛金及び契約資産	1,855,947	1,731,212
商品及び製品	6,455,520	6,726,469
仕掛品	50,253	53,375
原材料及び貯蔵品	251,780	297,820
販売用不動産	1,118,021	1,118,021
前払費用	162,491	154,121
その他	846,734	371,285
貸倒引当金	△300,456	△122,725
流動資産合計	13,104,529	12,043,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,190,405	6,005,846
減価償却累計額	△2,186,940	△2,409,835
減損損失累計額	△966,802	△1,108,558
建物及び構築物（純額）	2,036,662	2,487,452
機械装置及び運搬具	77,591	78,444
減価償却累計額	△73,887	△70,088
減損損失累計額	—	△1,072
機械装置及び運搬具（純額）	3,704	7,282
工具、器具及び備品	2,508,033	2,524,998
減価償却累計額	△1,115,708	△1,166,858
減損損失累計額	△561,234	△596,675
工具、器具及び備品（純額）	831,090	761,463
土地	3,315,761	4,213,638
リース資産	487,147	519,020
減価償却累計額	△196,069	△236,386
減損損失累計額	△43,036	△56,477
リース資産（純額）	248,041	226,157
建設仮勘定	209,638	86,226
有形固定資産合計	6,644,898	7,782,221
無形固定資産		
のれん	284,108	237,617
その他	71,357	64,277
無形固定資産合計	355,465	301,895
投資その他の資産		
投資有価証券	290,471	17,131
長期貸付金	183,200	13,600
敷金及び保証金	1,351,639	1,485,399
繰延税金資産	427,669	293,278
その他	329,374	249,192
貸倒引当金	△292,965	△194,220
投資その他の資産合計	2,289,390	1,864,381
固定資産合計	9,289,753	9,948,499
資産合計	22,394,283	21,991,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	274,161	458,652
短期借入金	3,536,000	3,293,000
1年内返済予定の長期借入金	755,696	1,679,729
リース債務	86,188	94,376
未払金及び未払費用	985,411	1,009,475
未払法人税等	787,201	713,238
契約負債	1,826,230	1,923,791
その他	643,623	331,940
流動負債合計	8,894,513	9,504,204
固定負債		
長期借入金	2,248,301	1,987,862
リース債務	128,041	68,940
退職給付に係る負債	247,318	240,470
資産除去債務	660,197	650,692
その他	817,810	672,141
固定負債合計	4,101,670	3,620,106
負債合計	12,996,183	13,124,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,474,276	2,474,276
利益剰余金	5,795,246	5,343,427
自己株式	△1,403,305	△1,404,895
株主資本合計	9,483,469	9,030,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,425	216
為替換算調整勘定	△197,204	△367,539
その他の包括利益累計額合計	△250,630	△367,323
非支配株主持分	165,260	204,545
純資産合計	9,398,099	8,867,283
負債純資産合計	22,394,283	21,991,594

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	21,463,223	21,099,879
売上原価	7,920,731	7,416,164
売上総利益	13,542,492	13,683,715
販売費及び一般管理費	10,237,983	10,819,358
営業利益	3,304,509	2,864,356
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,058	7,085
為替差益	123,097	157,226
その他	25,512	16,558
営業外収益合計	158,668	180,870
営業外費用		
支払利息	69,636	127,615
その他	21,632	2,587
営業外費用合計	91,269	130,203
経常利益	3,371,908	2,915,023
特別利益		
固定資産売却益	—	2,340
投資有価証券売却益	1,170	—
特別利益合計	1,170	2,340
特別損失		
減損損失	187,280	268,545
投資有価証券売却損	—	179,437
関係会社株式評価損	20,331	—
関係会社清算損	250,104	—
その他	—	0
特別損失合計	457,716	447,983
税金等調整前当期純利益	2,915,362	2,469,381
法人税、住民税及び事業税	1,265,527	1,261,109
法人税等調整額	△93,208	83,007
法人税等合計	1,172,319	1,344,116
当期純利益	1,743,043	1,125,264
非支配株主に帰属する当期純利益	15,717	39,285
親会社株主に帰属する当期純利益	1,727,325	1,085,979

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,743,043	1,125,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80,819	53,642
為替換算調整勘定	187,392	△170,334
その他の包括利益合計	106,573	△116,692
包括利益	1,849,616	1,008,571
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,833,898	969,286
非支配株主に係る包括利益	15,717	39,285

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,617,252	2,474,276	5,263,667	△499,283	9,855,913
当期変動額					
剰余金の配当			△1,195,746		△1,195,746
親会社株主に帰属する当期純利益			1,727,325		1,727,325
自己株式の取得				△904,022	△904,022
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	531,578	△904,022	△372,443
当期末残高	2,617,252	2,474,276	5,795,246	△1,403,305	9,483,469

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27,393	△384,597	△357,203	149,542	9,648,252
当期変動額					
剰余金の配当					△1,195,746
親会社株主に帰属する当期純利益					1,727,325
自己株式の取得					△904,022
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△80,819	187,392	106,573	15,717	122,290
当期変動額合計	△80,819	187,392	106,573	15,717	△250,152
当期末残高	△53,425	△197,204	△250,630	165,260	9,398,099

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,617,252	2,474,276	5,795,246	△1,403,305	9,483,469
当期変動額					
剰余金の配当			△1,536,798		△1,536,798
親会社株主に帰属する当期純利益			1,085,979		1,085,979
連結範囲の変動			△999		△999
自己株式の取得				△1,590	△1,590
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△451,818	△1,590	△453,408
当期末残高	2,617,252	2,474,276	5,343,427	△1,404,895	9,030,060

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△53,425	△197,204	△250,630	165,260	9,398,099
当期変動額					
剰余金の配当					△1,536,798
親会社株主に帰属する当期純利益					1,085,979
連結範囲の変動					△999
自己株式の取得					△1,590
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	53,642	△170,334	△116,692	39,285	△77,407
当期変動額合計	53,642	△170,334	△116,692	39,285	△530,816
当期末残高	216	△367,539	△367,323	204,545	8,867,283

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,915,362	2,469,381
減価償却費	338,866	429,061
減損損失	187,280	268,545
のれん償却額	42,548	46,490
関係会社清算損益 (△は益)	250,104	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,817	△7,650
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,860	△6,847
受取利息及び受取配当金	△10,058	△7,085
支払利息	69,636	127,615
為替差損益 (△は益)	△22,937	5,776
固定資産売却益	—	△2,340
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,170	179,437
関係会社株式評価損	20,331	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△85,165	△36,219
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△585,024	△320,110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△221,206	184,427
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	132,820	△2,418
契約負債の増減額 (△は減少)	160,375	81,753
未払又は未収消費税等の増減額	△285,950	238,842
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△144,288	25,703
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	75,342	△5,918
その他	△81,914	△225,761
小計	2,769,631	3,442,683
利息及び配当金の受取額	10,058	7,085
利息の支払額	△70,001	△124,445
法人税等の還付額	564,674	316,086
法人税等の支払額	△1,303,780	△1,732,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,970,582	1,908,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36,000	△36,000
有形固定資産の取得による支出	△834,778	△1,552,433
有形固定資産の売却による収入	—	3,136
無形固定資産の取得による支出	△59,783	△12,681
投資有価証券の取得による支出	△108,869	—
投資有価証券の売却による収入	58,832	153,567
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	8,965	—
関係会社株式の取得による支出	△21,691	△30,000
長期貸付金の回収による収入	67,200	232,000
敷金及び保証金の差入による支出	△110,548	△175,475
敷金及び保証金の回収による収入	24,886	21,853
その他	△42,278	△46,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,054,066	△1,442,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△168,562	△243,000
長期借入れによる収入	1,878,708	2,447,315
長期借入金の返済による支出	△986,741	△1,819,801
割賦債務の返済による支出	△240,208	△244,291
リース債務の返済による支出	△99,855	△90,312
自己株式の取得による支出	△904,022	△1,590
配当金の支払額	△1,179,329	△1,532,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,700,011	△1,484,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,951	31,655
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△694,543	△987,220
現金及び現金同等物の期首残高	3,322,781	2,628,237
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	497
現金及び現金同等物の期末残高	2,628,237	1,641,513

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは国内外のジュエリー・アート・オークション事業及びヘルス&ビューティー事業を主な事業内容としており、関連する事業を法人化して、グループ運営を行っております。

したがって、当社グループはサービス内容・経済的特徴を考慮したうえで事業セグメントを集約し「ジュエリー・アート・オークション事業」、「ヘルス&ビューティー事業」、「その他事業」を報告セグメントとしております。

各セグメントの事業概要は以下のとおりであります。

セグメント区分	事業内容
ジュエリー・アート・オークション事業	ブライダルジュエリーの製造・販売、ブライダル関連サービス、美術品の販売・アートオークションの運営等
ヘルス&ビューティー事業	エステティックサロンの運営、化粧品及び健康食品等の製造・販売
その他事業	クレジット事業、ゴルフ用品の製造・販売、関連スポーツ用品の開発・製造、ホテル・結婚式場の運営・リゾート開発事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ジュエリー・ アート・オー クション事業	ヘルス&ビュ ーティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収 益	18,840,835	2,169,906	371,172	21,381,915	—	21,381,915
その他の収益 (注) 3	38,571	4,040	38,697	81,308	—	81,308
外部顧客への売上高	18,879,406	2,173,947	409,869	21,463,223	—	21,463,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,068	37,145	—	38,214	△38,214	—
計	18,880,475	2,211,092	409,869	21,501,438	△38,214	21,463,223
セグメント利益又は損失 (△)	3,980,976	△231,460	△67,103	3,682,413	△377,904	3,304,509
セグメント資産	12,140,158	1,142,390	4,718,131	18,000,681	4,393,601	22,394,283
その他の項目						
減価償却費	238,288	51,733	21,592	311,613	27,252	338,866
のれんの償却額	30,722	—	11,826	42,548	—	42,548
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	141,645	50,090	594,950	786,686	122,329	909,016

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額には、各セグメントに配分していない全社資産4,731,107千円及びセグメント間債権債務消去△337,505千円を含んでおります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産に係る資産の減価償却であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ジュエリー・ アート・オー クション事業	ヘルス&ビュ ーティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	19,253,173	1,328,670	396,726	20,978,569	—	20,978,569
その他の収益 (注) 3	86,168	2,439	32,701	121,309	—	121,309
外部顧客への売上高	19,339,341	1,331,109	429,428	21,099,879	—	21,099,879
セグメント間の内部売上高 又は振替高	965	41,000	26	41,992	△41,992	—
計	19,340,307	1,372,110	429,454	21,141,872	△41,992	21,099,879
セグメント利益又は損失 (△)	3,907,816	△520,737	△99,023	3,288,055	△423,698	2,864,356
セグメント資産	13,222,654	872,329	5,441,766	19,536,749	2,454,844	21,991,594
その他の項目						
減価償却費	340,088	30,362	31,972	402,423	26,638	429,061
のれんの償却額	30,722	—	15,768	46,490	—	46,490
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	645,216	12,233	906,173	1,563,622	7,077	1,570,700

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額には、各セグメントに配分していない全社資産2,754,720千円及びセグメント間債権債務消去△299,876千円を含んでおります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産に係る資産の減価償却であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計
減損損失	—	187,280	—	187,280

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計
減損損失	20,211	207,626	40,707	268,545

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計
当期償却額	30,722	—	11,826	42,548
当期末残高	138,251	—	145,856	284,108

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計
当期償却額	30,722	—	15,768	46,490
当期末残高	107,528	—	130,088	237,617

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	611円54銭	563円72銭
1株当たり当期純利益	110円56銭	70円67銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,727,325	1,085,979
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,727,325	1,085,979
期中平均株式数(千株)	15,622	15,367

(重要な後発事象)

(株式取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2024年1月10日開催の取締役会決議に基づき、Wah Full Group Limited (以下、「Wah Full社」という。)の発行済株式総数の30.8%を2024年4月30日に取得し、持分法適用関連会社化いたしました。なお、2024年7月31日迄に残り39.2%の株式を取得する予定です。

1. 株式取得の目的

2013年に「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されて以降、我々日本人の健康的でバランスの取れた食文化が世界的に注目され、農林水産省が発表する農林水産物・食品の輸出額はこの10年間で約3倍になるという極めて高い伸びを示しています。

そのような「世界的な日本食ブーム」の中、当社は香港において20年以上、和牛を中心に食肉の輸入・卸売を行っているWah Full社の株式を取得し子会社化することで、日本の多種多様な食材を輸出する事業に取り組むことを決定しました。

今や世界中で人気を博している“和牛”は、牛肉を食べるようになって僅か150年余りの日本人が知恵と努力で作り上げた世界に誇れる食文化の一つです。

また和牛に限らず、日本は極めて多様な農畜産物・海産物に恵まれており、そのどれもが我が国固有の食文化と密接に結びついています。

それらの食材を広く海外に輸出し、日本の持つ食文化を正しく伝える一翼を担うことが政治的・文化的にも大変意義深いものであるとの考えのもと、当社は本件事業への参入を決定しました。

具体的には、特に海外で人気の高い九州・北海道の農畜産物・海産物を当社グループと親密な物産会社から仕入れ、それらをWah Full社の持つネットワークを通じて販売することを構想しております。

なお、本件株式取得は当社グループが構想する「成功企業パートナー連合」の組成に向けた大きな一歩でもあります。

ここで言う「成功企業」とは、規模によらず健全な経営により着実な利益を実現している企業を意味していますが、当社は友好的なM&Aにより多種多様な業種の「成功企業」をグループに加えることで、景気の変動や国内外情勢の変化に左右されることなく安定的に成長し続ける企業グループを今後も目指して行きます。

2. 株式を取得する会社の概要

(1) 名称	Wah Full Group Limited
(2) 所在地	Unit 1-2, 18th Floor, Cornel Centre, 50 Wing Tai Road, Chai Wan, Hong Kong
(3) 代表者の役職・氏名	Chow Wai Keung Canno Director Kan Chung Ming Director Chan Fei Director
(4) 主な事業内容	加工冷蔵、冷凍肉、魚介類製品の総合サプライヤー
(5) 資本金	HKD8,300,000 (157百万円)
(6) 設立年月日	2021年2月3日 (創業2000年)

(7) 大株主及び持株比率	Master Express Group Limited (100%)		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及財政状態			
決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
純資産	602百万円	1,069百万円	1,707百万円
総資産	1,953百万円	3,006百万円	3,339百万円
売上高	6,770百万円	7,944百万円	7,866百万円
経常利益	764百万円	666百万円	692百万円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	Master Express Group Limited	
(2) 所在地	OMC Chambers, Wickhams Cay 1, Road Town, Tortola, British Virgin Islanads	
(3) 代表者の役職・氏名	Chow Wai Keung Canno Kan Chung Ming Chan Fei Li Qinghai	
(4) 主な事業内容	持株会社	
(5) 資本金	US \$ 10,000	
(6) 設立年月日	2018年3月28日	
(7) 大株主及び持株比率	Chow Wai Keung Canno (35.0%) Kan Chung Ming (35.0%) Chan Fei (15.0%) Li Qinghai (15.0%)	
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

※当初は株式取得の相手先が大株主の個人4名でしたが、相手先の要望により大株主4名が株主である持株会社へ変更になっております。

4. 株式取得数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	6,160株 (議決権の数：6,160個)
(3) 取得価額	HK\$56,558,698 (1,142百万円)
(4) 異動後の所有株式数	6,160株 (議決権の数：6,160個) (議決権所有割合：30.8%)

※当初は取得価額HK\$196,000,000でしたが、デューデリジェンス及び交渉の結果、取得価額はHK\$128,542,495となりました。残り39.2%の株式7,840株 HK\$71,983,797は今後追加で取得する予定となっております。

5. 株式取得の日程

(1) 取締役会決議	2024年1月10日
(2) 株式譲渡契約書締結日	2024年4月19日
(3) 株式取得実行日 (30.8%)	2024年4月30日
(4) 株式取得完了日 (39.2%)	2024年7月31日 (予定)

※当初は2024年3月25日に70%の株式を取得予定でしたが、デューデリジェンス及び交渉の結果4月30日に30.8%を取得し、7月31日迄に残り39.2%の株式を取得する予定となっております。